

一般質問通告書（令和元年9月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	梅田 徳男	<p>1. 人口減少問題への対応状況等について</p> <p>2. 荒廃田畑対策について</p>	<p>(1) 昨年9月定例会で、白杵市の人口減少問題に関して、その実態や対応策、成果等について質問させていただき、諸課題への今後の対応等を含め、答弁いただいているが、転出者数が多い実態を踏まえ、以下の3点についてお伺いしたい。</p> <p>① 現在の課題と今後、実施を予定している重点施策、期待される成果と目標値</p> <p>② 移住支援に関して、結果として定住に至らなかった件数、その要因と今後の対策</p> <p>③ 空家に関し、移住・定住等で中古住宅を求めている方の数と活用できる空家の数及びそれぞれの今後の見通し</p> <p>(1) 市内全域で荒廃田畑が目立ようになってきている。農業振興によって対応できればベストであるが、困難ではないかと考える。個人の所有地がほとんどだが、そのまま放置しておけば美観を損なうほか近接する道路に草木が侵入し、或いは鳥獣類の住み家となり、大変危険な状況も予測される。市民生活の安全・安心対策の一環としての対応を含め、今後、更に拡大が予測される荒廃田畑対策については、地区と一体となって何らかの対策を講じる必要があると考えるが、市のお考えを伺いたい。また、各地区の振興協議会などと連携し、市が必要な支援を行い継続的に季節の花などを植えていただくことで地域の活性化等を図ることも一策と考えられ、このことが、移住・定住の促進にもつながると思われるが、お考えを伺いたい。</p>		
2	戸四 映二	<p>1. 認知症施策の取り組みについて</p> <p>2. ひきこもり支援について</p> <p>3. 被災者台帳システムの導入について</p>	<p>(1) 白杵市認知症予防研究について</p> <p>① 市民の協力による約3年間の研究が終了したが、その成果と今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 認知症サポーター「チームオレンジ」の取り組みについて</p> <p>① 地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつける取り組みとのこととあるが、その概要と取り組みへの考えを伺う。</p> <p>(3) 条例の制定について</p> <p>① 認知症と診断されても、尊厳を持って生きることができる社会の実現と、認知症の人が安心して暮らせる白杵市とするため、「認知症の人にやさしいまちづくり条例（仮称）」を制定しては如何か。</p> <p>(1) 市内のひきこもり支援の現状について</p> <p>① ひきこもり状態と思われる人の人数を伺う。</p> <p>② ひきこもりの相談件数や対応件数の推移と、ひきこもりの人を持つ家族への支援の現状を伺う。</p> <p>(2) ひきこもり支援の体制について</p> <p>① 職員、民生委員などのひきこもり支援への研修状況及び、ひきこもり支援事業の周知や情報共有・連携体制を伺う。</p> <p>(3) ひきこもり支援の拡充について</p> <p>① ひきこもり対策推進事業では、市町村にひきこもり支援拠点としての居場所づくりや相談窓口の設置、ひきこもりサポーターの派遣などが求められているが、取り組みへの考えを伺う。</p> <p>(1) システム導入による効果について</p> <p>① 職員の業務上の効果としてはどのような違いがあるのかを伺う。</p> <p>② 大規模な災害発生で多くの市民が被災した場合、市民にどのようなメリットがあるのかを伺う。</p> <p>③ システム導入で迅速な支援が行なわれるために、市民が事前に準備するものはあるのかを伺う。</p>		
3	大塚 州章	1. 白杵港新埠頭の役割と活用について	<p>(1) 白杵港新埠頭について、白杵市としてその役割をどの様に捉えているか。</p> <p>(2) また、考えられる役割について、どのような構想を持っているのか。</p>		

一般質問通告書（令和元年9月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	奥田 富美子	1. 小・中学校のエアコン設置について 2. 防災について 3. 「もやせるごみ」の処理について	(1) 昨今の猛暑に対応して市内小・中学校にエアコンが整備され、快適な環境の整備が進んでいます。一方で、特別教室や相談室、給食配膳室など未整備の箇所があります。児童生徒はもとより教職員の働く環境整備の視点からも整備の必要があると思われます。今後の整備予定はどのようになっていますか？ (1) この夏、台風の接近により8月6日には「避難準備・高齢者等避難開始」、8月14日には「避難勧告」が発令されました。両日の避難実態について、お聞かせください。また、避難所が小・中学校の場合、管理者が地域住民でない場合もあり課題と思われます。現状ではどのように対応をしているのか、また住民の避難訓練を含め実効性を高めるための取り組みの現状については、どうなっていますか？ (2) 要支援者の避難計画が各地区でたてられています。進捗状況はどうなっていますか？特に自助、共助に頼り難い地区を正確に把握しサポートが必要と思われますが、どのようにお考えですか？ (1) 白杵市の「もやせるごみ」は大分市にその処理を委託しています。現在、その大分市の焼却炉の老朽化に伴い6市での広域ごみ処理施設の建設計画があります。これまでどのような検討がなされていますか？		
5	広田 精治	1. 会計年度任用職員制度の導入にあたって 2. (仮称)大分野津太陽光発電事業計画について	(1) 白杵市における正規職員と非正規職員の現状を伺う（教育委員会と分けて）。 ①正規職員数、②特別職非常勤職員数、③一般職非常勤職員数、④臨時職員数、⑤パート職員数 (2) 来年4月1日施行の会計年度任用職員制度に関する条例案について2点伺う。 ①条例制定にあたっての基本的な考え方。 ②条例が施行された場合の会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）、臨時的任用職員の各人数。 (1) 8月24日の住民説明会で、野津地域全体を対象にした住民説明会を開催するよう要望が出された。事業者に求めていただき、また市報にその案内を掲載していただきたいと考えるがいかがか。 (2) 株式会社ランドが株式会社ティーティーエス企画から事業を引き継いだとして住民説明会を2回開催した（8/5、8/24）。それを示す「大分野津太陽光発電事業組織図及びレイアウト計画について」との文書が市によって議員にも配布されているが、株式会社ティーティーエス企画から株式会社ランドへ事業承継された事実はない。事業認定の名義変更手続きもされていない。市は把握していると思うが、何らかの対応をされたか伺う。 (3) 事業を引き継いだという株式会社ランドから業務委託を受けたという業者は、一ツ木区長に「このまま反対姿勢を貫くなら反対者の土地含め一ツ木地区に対して損害賠償も辞さない」「区長が総責任者なので区長に対して賠償責任を問う」と億単位の金額を記した驚くべき社内文書を提示した。また8月24日の住民説明会では「同意が得られず一部地域全体の反対がある以上、実際地域の中で既に土地の売買契約が済んでいる方含め、地域全体に対して契約違反とみなし、損害賠償請求、またあらゆる法的手段も辞さない考えである」と記した説明会資料なる文書を配布した。以下を問う。 ① 住民の建設反対の意思表示、建設計画への不同意を原因とする損害賠償請求権など発生しない。事業者のこうした言動について本市の見解をお聞きしたい。 ② 区長に対する理不尽な求めや地元説明会での損害賠償を求めるといったような言動では、地元住民の同意は得られない。白杵市の再生可能エネルギー発電設備設置事業指導要綱は第4条（事業者の努力義務）で地域住民等との良好な関係を保つことを求めている。市の指導要綱に反する事業者に対して撤回、取消しを求めるべきだと考えるが、見解をお聞きしたい。 (4) これまでの経緯から、事業者の不誠実な地元住民への対応について、6月定例会で市長は不快感を示された。今回の地元区長への行為、住民説明会での事業者の言動は、地元住民の事業者への不信感を一層増大させた。反対姿勢が強固な笹枝地区などと共に一ツ木地区の同意を得ることはさらに困難となった。白杵市として事業者に対して計画中止を求めるべきと考えるが、あらためて思いを伺う。		

一般質問通告書（令和元年9月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
6	河野 巧	1. 情報開示について	<p>白杵市には現在、情報発信ツールとして市報、ケーブルテレビ、ホームページ等が存在する。また、近年ではフェイスブックを取り入れた情報発信も行われている。しかし、更新も様々で市民からは新しい情報や過去の情報を閲覧するのに苦慮しているといった意見を聞く。そこで3点質問致します。</p> <p>(1) 情報開示を横断的に司る部署および担当課はどこですか。</p> <p>(2) 市民の市政参加を推進する上でも情報公開は極力、行政側から行うべきだと考えますが、現状は。</p> <p>(3) 告知等の情報発信が期限に近いものが多くあります。担当課（情報源と発信元）との連携はどう行われているか。</p>		
		2. 地区集会所の現状と今後について	<p>現在、白杵市には304自治会が存在しています。平成27年度に策定した第2次白杵市総合計画によると、2019年度で200とする目標値も示されています。高齢化も進み、地域で集会所を維持する事も困難になっていると聞きます。そこで地区集会所の現状と今後について3点質問致します。</p> <p>(1) 地区集会所にはどういった形態（公設公営、公設民営、民設民営）がいくつ存在するか。</p> <p>(2) 地区集会所の改修費に関しての要望や利用に関する調査等、近年の推移について。</p> <p>(3) 地区集会所の存続や統合について地区民との協議を進める予定はないか。</p>		
		3. 野津地域の幼小中の今後について	<p>6月定例会で旧野津高校跡地についての質問の回答として「基本的に小中一体教育を進めているので、仮に野津地域の小学校を統合する場合は中学校に併設する」とありました。</p> <p>(1) 野津幼稚園についてはどう考えているか。</p>		
		4. 風力発電について	<p>白杵市内で検討されている2ヶ所の風力発電計画の経過について</p> <p>(1) 事業者から自治体及び地区民への対応について</p> <p>(2) 周辺環境への影響に対する対策について</p>		
7	若林 純一	1. 「野津地域の統合小学校」について	<p>「将来的に野津地域の統合小学校を建設することが必要になった場合の適地については、小中一貫校として整備することが望ましいと考えており、現在の野津中学校に隣接する市有地を活用することを想定している」との考えが示されました。</p> <p>(1) そのような考えに至った理由、及びこれまでの経過についてお伺いします。</p>		
		2. (仮称)「大分野津太陽光発電事業計画」について	<p>極めて規模の大きい開発であり、地元は無論のこと、白杵市にとっても影響が大きいと考えられます。</p> <p>(1) 白杵市にとってのメリットとデメリットをどのように捉えていますか？</p> <p>(2) 事業に対して白杵市はどのように考えていますか？</p> <p>(3) 事業者对白杵市の考えを伝え、協議する機会はありますか？それはいつのどの段階ですか？</p> <p>(4) 事業内容や進捗状況、白杵市の考えを「市報」などでお知らせすべきと考えます。如何お考えですか？</p>		
		3. 「中心市街地の活性化」について	<p>白杵市のホームページによれば「サーラ・デ・うすき」については、『「白杵の台所」としての「食の情報発信・継承」「チャレンジ」をテーマとした施設にリニューアルしました。四季折々の旬の野菜・地魚・郷土料理を味わい、白杵の食の魅力を感じてください。』とされ、施設改修を行い、2つのレストランを誘致しましたが、現時点において空き店舗になっています。また、「まるしょく屋」も撤退するに至り、中心市街地の空洞化が憂慮されます。</p> <p>(1) 「サーラ・デ・うすき」について、現在の状況と今後の取組方針についてお伺いします。</p> <p>(2) 「まるしょく屋」撤退についての現在の状況と今後の取組方針についてお伺いします。</p>		

一般質問通告書（令和元年9月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
8	匹田 久美子	1. 「防災力を高める取り組み」について	(1) 防災士の役割について ① 現在の人数と体制 ② 日ごろの活動 ③ これから望まれる防災士としての役割と活動の方向性 ④ 女性防災士の活動について (2) 避難所開設運営等の訓練について ① これまでに行った訓練 ② 見えている成果と課題 ③ 望ましい訓練のあり方とはどのようなものか		
		2. 「白杵市道路交通ネットワークビジョン研究会」について	(1) 研究会の今後の予定 (2) 研究会の目的		
9	内藤 康弘	1. 白杵市農業の現況について	(1) 夏秋ピーマンにおける病害対策について ① ウイルス性黄化えそ病が昨年より発生している。西日本有数の産地である栽培農家への対応、及び今後の対策について問う。 (2) ほんまもん農産物について ① 昨年9月定例会において「販路拡大に努め生産者を増やし生産面積の拡大が不可欠である」との答弁がありました。その後の経過と成果を問う。		
10	伊藤 淳	1. 地域振興協議会の活動への支援について	(1) 地域振興協議会は、少子高齢化を見据えた対策の一つであり、白杵市は、その活動を継続的に支援していくとされています。そこでお尋ねしますが、今後どのような支援が必要と考えておられるかを教えてください。		
		2. 高齢者施策について	(1) 白杵市高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画に、白杵市では高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりを進めるため、様々な取り組みを行い、地域課題を把握し、政策に反映させると示されています。そこでお尋ねします。 ① 今年、「口腔ケア」「低栄養」「薬の管理」をテーマとした冊子が作成されましたが、これらのテーマが、白杵市の地域課題であるかどうかのようにして把握され、それにより得られた市の実態などを教えてください。 ② 白杵市Z会議では「在宅での看取り」が次のテーマとされているとのことですが、これについても、白杵市の地域課題であるかどうかのようにして把握され、それにより得られた市の実態などを教えてください。 ③ この「在宅での看取り」という課題に対して、今後どのような取り組みをされるのか市のお考えを教えてください。		